

アンプルピッカーの紹介

上尾中央総合病院の薬剤師は、患者様の健康維持を目標に、薬物療法の質の向上を目指しています。薬の効果を最大限に引き出し、一方で副作用をいかに抑えるか、この相反する事柄を両立させなければなりません。薬剤師ならではの薬学的診断を実践しています。

多くの薬剤師の業務の中の1つに、医薬品の在庫管理と注射薬調剤があります。

必要な薬が不足する欠品を起こしてしまうと、患者さんの治療に悪影響を及ぼします。一方で何でもかんでも揃えて置けばよいと言うものではありませんので、過剰在庫にも注意が必要です。過剰在庫は時に期限切れにつながり、医薬品の品質低下につながる可能性があります。欠品を招くことなく、過剰在庫にならない様に在庫数を調節することが求められています。当院の場合は、医薬品の大多数は入院患者さんに使用されますので、入院患者さんの人数・状態などを考慮して、医薬品管理に努めています。医薬品の適正使用は、在庫管理から始まっています。

また注射薬調剤も、アンプルピッキングマシンと呼ばれる調剤ロボットを使用しています。ガラス製のアンプルや、小容量の輸液ボトルも自動で調剤可能な非常に大きな機械機械です。



がん相談室のご案内

がん相談室では、患者さんやご家族からのがんに関する疑問や不安、悩みなどのご相談を、看護師や相談員をはじめとするスタッフが、一緒に考え、連携をとりながら問題解決の手助けを行います。お気軽にご相談下さい。

ご利用方法

【受付時間】

- *月～金曜日 午前9時～午後5時まで
- *土曜日 午前9時～12時まで（日祭日を除く）

【相談方法】

- *面談は、原則として予約制となります。
- *各外来・病棟看護師に声をかけていただくか、直接がん相談室においで下さい。

お問い合わせ

【連絡先】 上尾中央総合病院 代表 048-773-1111

【場 所】 G館4階 がん相談室

たとえば・・・

- がんと言われて、これからが不安ばかり・・・。
- 治療や手術にかかる費用が心配で・・・
- 自宅での生活や日常の過ごし方について。
- 使える医療・福祉・介護の制度やサービスは？
- 家族として何かできることはありますか？
- ホスピス、緩和ケアって？家で介護をするには？などの、不安や疑問。



編集 後記

新年あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。
年も変わりB館竣工に向けた動きがいよいよ本格化してまいります。加えて診療報酬の改定や消費税増税など経営を取り巻く環境はますます厳しくなるばかりですが、こういう時こそ患者様に真摯に向き合い、原点である愛し愛される病院づくりに努めてく所存です。

編集長 平田一雄

医療法人社団 愛友会

上尾中央総合病院

TEL.048-773-1111(代)

〒362-8588

埼玉県上尾市柏座1丁目10番10号

<http://www.ach.or.jp/>



アウंकフル

上尾中央総合病院 広報誌

～愛し愛される病院を目指して～

VOL.33

平成26年1月発行



平成26年 年頭挨拶

明けましておめでとうございます。

新年のご挨拶を申し上げます。

さて、本年12月1日には、当院が開設されてから50周年を迎えます。創立50周年の記念事業として建築中であるB館の工事においては、長い間騒音のみならず工事車両の出入りなど近隣の皆様には大変ご迷惑をお掛けしており、この場を借りてお詫びを申し上げます。しかし、皆様からのご協力を賜り、本年4月にB館I期工事竣工を迎える運びとなりました。重ねて厚く感謝申し上げます。

B館が竣工した暁には、かねてより計画しておりました最新鋭の機器の導入、救急医療体制及びがん治療の強化、新たな検診センターの開設が実現致します。地域の基幹病院として求められる役割や期待に対し、責任を持って応えてゆく所存でございます。また、施設の充実に伴い、改めて医療人としての自覚と誇りを胸に医療に対して取り組んでいく所存でございます。

そして本年におきましては、消費税の増税という大きな変化が控えております。その影響は医療業界においても例外ではございません。健全な病院運営及び地域住民の皆様に求められる医療を継続して提供すべく、職員一同【高度な医療で愛し愛される病院】という理念を今一度認識しなおし、病院全体で一丸となり邁進してゆく所存でございます。

50周年という大きな節目を迎える当院ですが、皆様からのご支援あつてのこととあります。これからも皆様からのご支援を何卒よろしくお願い申し上げます。



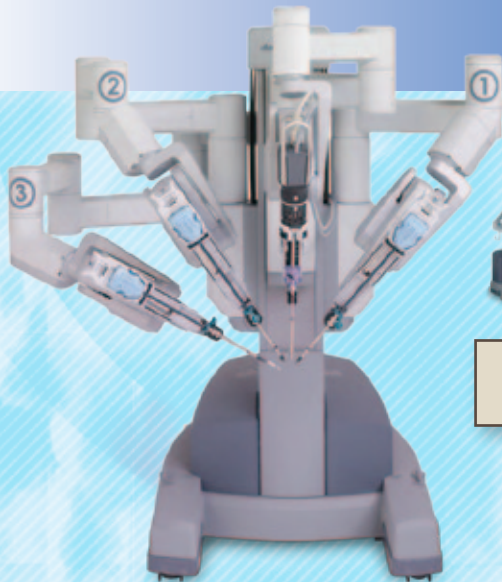
院長 徳永英吉



平成26年4月に 上尾中央総合病院 新館（B館Ⅰ期） が竣工します



内視鏡手術支援ロボット 「ダヴィンチ」



- 手術の安全性向上と低侵襲な手術を実現する、内視鏡手術支援ロボット「ダヴィンチ」を導入しました。
- 高性能な透視装置と手術寝台を設置し、最近急速に増加している各分野の血管内治療に対応するハイブリッド手術室を導入します。
- 先進医療を提供するため、再生医療樹状細胞ワクチン治療、脂肪組織由来幹細胞移植)に取り組みます。
- 診断・検査の充実に向けて、最新鋭MRI装置（3.0T 2台、1.5T 1台）を導入します。

最新鋭医療機械の導入による高度な医療を提供します。

予防医学を 推進します。

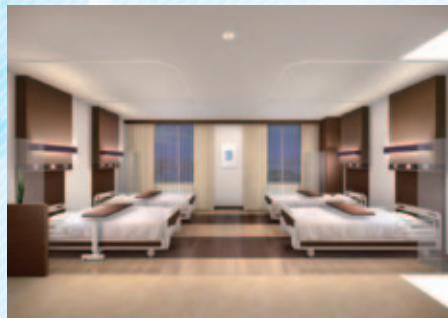
- 新たに健診センターを開設します。
- 人間ドック・検診専用の被ばく線量低減に対応した、一般撮影装置（2台）・乳腺撮影装置（2台）・X線TV装置（3台）を導入します。

療養環境を改善します。

- 入院患者様の視点から「おもてなし」をキーワードに居心地の良い療養環境を提供します。



▲個室イメージ



▲4人部屋イメージ

5 B館の ポイント



総合受付・ホールイメージ▲

救急医療体制を強化し、 地域医療に貢献します。

- 年間10,000人以上の救急患者受入を可能とする救急室に大幅拡張します。
- 迅速な診断・検査の実施に向けて、救急室専用の一般撮影装置・CT装置を導入します。
- ICU（集中治療室）・CCU（冠疾患集中治療室）を15床から22床へ増設します。
- 緊急手術に対応するため、手術室を7室から15室に増設します。

がん治療を強化します。

- 緩和ケア病床（21床）を新設します。
- 外来化学療法室のベッドを増設します。

地域医療連携の推進にご協力いただいている先生方

「地域医療連携とは？」

地域医療連携とは、地域の医療機関が自らの施設の設備や地域の医療状況に応じて、診療内容・医療機関の分担や専門化を進め、各医療機関が相互に円滑な連携を図り、専門的機能を最大限有効に提供することを目的としています。当院は、地域の医療機関との連携を推進しており、様々な医療機関と連携することで、より質の高い医療を効果的に地域の皆様に提供することが可能になると考えております。この医療連携にご協力いただいている医療機関をご紹介します。

こしの眼科クリニック

■資格
日本眼科学会 眼科専門医

標榜科：眼科

住所：上尾市原市中3-1-8
TEL：048-872-7772

平成23年5月、ニューシャトル原市駅より徒歩1分の地に開院しました。手術室・リハビリルームを備え、患者様負担の少ない日帰り手術を行っています。当院の特徴として網膜疾患に対する硝子体手術や緑内障手術など専門性の高い治療に幅広く対応しています。また、一般的な白内障手術についても質を追求し妥協のない治療の提供を心がけています。眼の疾患に対する治療は近年、患者様のご負担が軽くなるよう進歩しています。以前のように術後絶対安静が必要という事ありませんし、手術の痛みもかなり抑える事ができています。“最近まぶしく感じる”“かすんで見える”など眼の不調を感じておられる方は、どうぞお気軽にご相談ください。



院長 越野 崇

皆様へ

患者様に喜んでいただけるよう、最善の医療を提供していきたいと思ひます。また、お電話で初診の御予約をおとりいただく事ができます。お気軽にお問い合わせ下さい。

受付時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00～12:00	●	●	●	●	●	●※	
15:00～18:00	●		●		●		

※土曜は14:00まで

